

## 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

#### 4年制 スーパーeエンターテイメント科(昼間II部)

文化・教養専門課程 スーパーeエンターテイメント科(昼間Ⅱ部) 2025年度

## 3年制 音楽テクノロジー科(昼間Ⅰ部)

文化・教養専門課程 音楽テクノロジー科(昼間Ⅰ部) 2025年度

文化・教養等履修科目一覧(専向1部) 2020年度													
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任
○		オーディオエンジニアリング I	楽曲を制作する基礎とサウンドメイクの知識を習得する。基礎となるリズムパートやポピュラーミュージックで多用される楽器の基礎・特性などについて知識を習得し、プログラミング実習を行う。	1・前期	60	4	○	○	○				○
○		オーディオエンジニアリング I	楽曲を制作する基礎とサウンドメイクの知識を習得する。基礎となるリズムパートやポピュラーミュージックで多用される楽器の基礎・特性などについて知識を習得し、プログラミング実習を行う。	1・後期	60	4	○	○	○				○
○		コンポジションプロジェクト I	レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。	2・前期	60	4		○	○				○
○		コンポジションプロジェクト I	レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。	2・後期	60	4		○	○				○
				計	240	16							
省令で定める基準授業時数							240単位時間						

## 3年制 音楽テクノロジー科(昼間Ⅱ部)

文化・教養専門課程 音楽テクノロジー科(昼間Ⅰ部) 2025年度

## 2年制 商業音楽科(昼間 I 部)

文化・教養専門課程 商業音楽科(昼間Ⅰ部)2025年度

文化・教養等履修科目一覧表(Ⅰ部)/2023年度												
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員	
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任
	○	PA実習	PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出しチェックまでを反復して習得する。	1・前期	90	6	○	○				○
	○	PA実習	PAとして必要な知識、機材名、用語を習得する。マイクに音が入ってスピーカーから音が出るまでの信号の流れを基本から仕込み、音出しチェックまでを反復して習得する。	1・後期	90	6	○	○				○
				計	180	12						
省令で定める基準授業時数							160単位時間					

## 2年制 プロミュージシャン科(昼間Ⅰ部)

文化・教養専門課程 プロミュージシャン科(昼間Ⅰ部)2025年度

文化・教養専門課程 プロミニーンシャン科(専間1部)2020年度											
分類		授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所	教員	企業等との連携
必修	選択必修						講義	演習	実験・実習	校内	
選択自由選択										専任	兼任
○		楽器演奏I	鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論・イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術習得。	1・前期	60	4	○	○	○		○
○		楽器演奏II	鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論・イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術習得。	1・後期	60	4	○	○	○		○
○		ヴォーカルレッスンI	ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。	1・前期	60	4	○	○	○		○
○		ヴォーカルレッスンII	ヴォーカリストとして大切な基礎の知識と実技を学び、歌唱技術に活かすためのトレーニング方法を習得。	1・後期	60	4	○	○	○		○
				計	240	16					
省令で定める基準授業時数							160単位時間				

## 2年制 ダンス&アクターズ科

文化・教養専門課程 ダンス&アクターズ科(昼間 I 部) 2025年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		場所		教員		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実	校内	校外	専任	兼任
	○		HIP HOP	音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーヴとノリの出し方、身体の動かし方、どのパートをどのように動かすかを身につけることができる	1-2・前期	60	4	○	○				○	
	○		HIP HOP	音表現のメカニズム、リズムとタイミングとニュアンス、グルーヴとノリの出し方、身体の動かし方、どのパートをどのように動かすかを身につけることができる	1-2・後期	60	4	○	○				○	
	○		発声・滑舌	鮮明に発音するために書くことのできない母音から腹式呼吸、口の開き方まで基礎的な発生と調音を学びます。 そして自分のセンター(中心線)を知り、まっすぐ立てるようになる。相手(共演者、観客)に届く声が出るようにします。	1・前期	60	4	○	○				○	
	○		発声・滑舌	鮮明に発音するために書くことのできない母音から腹式呼吸、口の開き方まで基礎的な発生と調音を学びます。 そして自分のセンター(中心線)を知り、まっすぐ立てるようになる。相手(共演者、観客)に届く声が出るようにします。	1・後期	60	4	○	○				○	
								計	240	16				
省令で定める基準授業時数								160 単位時間						